



会社のダンマリが一転
急ぎよ団交の設定で
組合は苦心

本部申26号「2021年度夏季手当に関する申し入れ」は、6月4日の第2回交渉を終えてから再三再四、次回の団体交渉開催を会社に求めていた。私たちの生活にかかわる重要事項でありながら**ダンマリ**を**続けていた会社**が、急ぎよ回答指定日（6月11日）の前日に団体交渉を設定してきたのだ。

あえて専従者を置かず、現場で奮闘する中央執行委員の勤務操配で対応するなど、輸送サービス労組は苦心した。

本部申26号、交渉妥結

要求項目に回答しない会社に

基準内賃金の

2.0 ヶ月

「もらえるだけマシ」
でいいの？
眼前、足許の問題を見過ごすな

だ！

あなたが悔しさや虚無感を胸に秘めているならば、それをここで声に出す時だ！

労働組合

勢や労働組合への悪宣伝を許すわけにないかない。待ったなしで山積する職場問題の解決へ向けて、私たち労働者は歩みを止めずに前進し続ける時だ。

あなたが行ってしまおうのだろうか？

交渉は妥結したが、会社の不誠実な姿勢や労働組合への悪宣伝を許すわけにないかない。待ったなしで山積する職場問題の解決へ向けて、私たち労働者は歩みを止めずに前進し続ける時だ。

あなたが悔しさや虚無感を胸に秘めているならば、それをここで声に出す時だ！

職場問題は待ったなし

会社から提示された回答は要求から大きく乖離する内容だった。何より会社が提示した**回答書には要求項目の『特別昇給の実施』について一切触れられていなかった**。労働組合軽視であり、不誠実の極みと言えよう。買い叩きされた分はどこに行ってしまうのだろうか？

確認事項の成果もあるが
ダンマリ&悪宣伝や

例えばこういう職場問題も見過ごすわけにはいかない
(イメージ)



労働力を買い叩きされて喜ぶ社員はいない！

輸送サービス労組

悔しさや虚無感を胸にしまわず、労働組合で声を上げよう！